

国際物流戦略チーム短期対応施策の 取組状況イメージ

平成18年2月15日

国際物流戦略チーム第三回幹事会

【取り組み状況】スーパー中枢港湾 阪神港としての機能充実のため、以下を実施

大阪港

ターミナルの24時間フルオープン運営を支援する施設の整備に向け、調整中



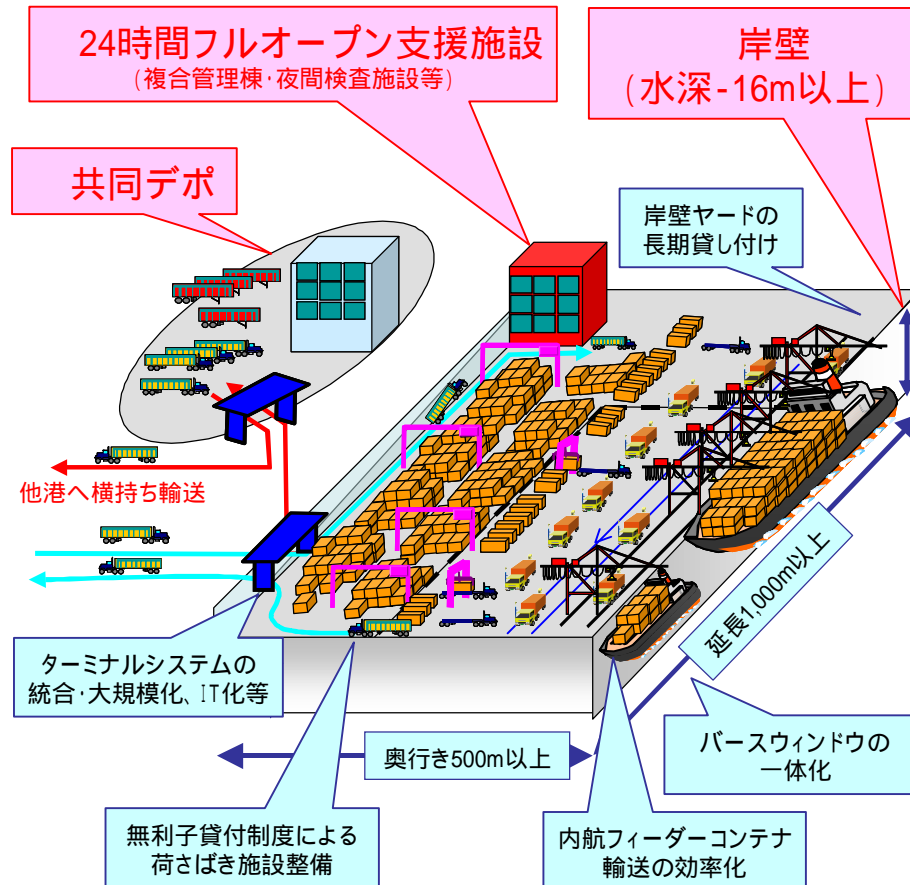
神戸港

最大級のコンテナ船型に対応した係留施設として、神戸ポートアイランド 期地区 コンテナターミナル (-16m)を平成18年度より新規着工



ゲート混雑回避、阪神港間のコンテナ横持ち輸送の効率化のための共同デポを整備中

阪神港次世代高規格コンテナターミナルのイメージ



【今後の予定】

岸壁は平成20年度の完成、平成21年の暫定供用を目指す
平成17年度中の完成を予定

課題：【拠点整備】

コンテナ船の大型化、抜港の動向を見通した港湾機能の充実

短期対応施策の
取組状況イメージ

【取り組み状況】大阪湾諸港の一開港化について「大阪湾諸港の包括的な連携に向けた検討部会」を設置し、具体的な検討を開始

H17.10.5 国際物流戦略チーム第二回幹事会

新たな短期対応方針として、「大阪湾諸港の一開港化について、関係機関において具体的な検討を開始する」ことを追加

H17.12.8 大阪湾諸港の包括的な連携に向けた検討部会の設置

大阪湾諸港の一開港化について、関係機関において具体的な検討を開始

H18.1.24 大阪湾諸港の包括的な連携に向けた検討部会(第二回)

4港湾管理者から関係者に対し、連名の要望書を提出することを決定
国際物流戦略チームで予定する関西総意の政策提言に反映することを決定

H18.2.15 国際物流戦略チーム第三回幹事会

関西の広域連携という観点から「政策提言」をとりまとめていくことを了承予定
4港湾管理者から関係者に対し、連名の要望書を提出することを報告予定

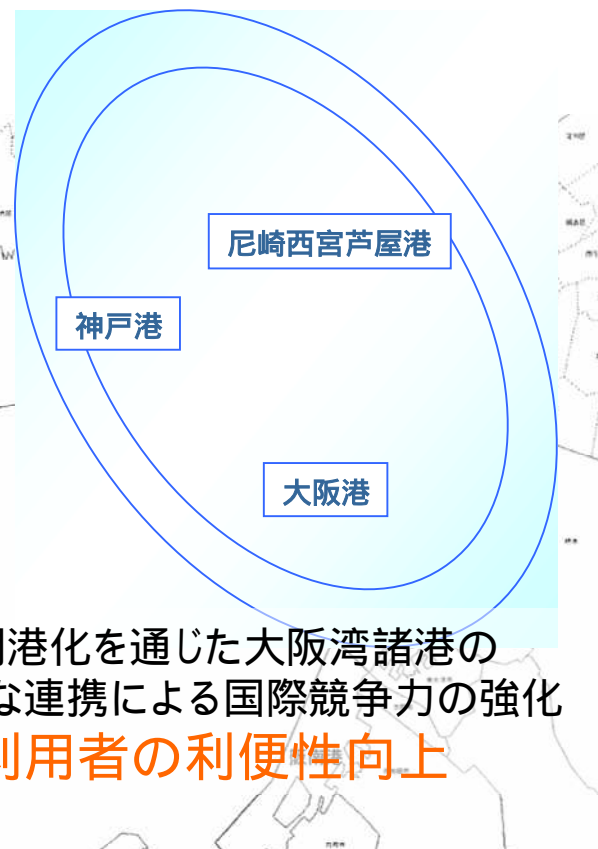
H18.3.10 国際物流戦略チーム第二回本部会合(予定)

関西の広域連携という観点からの「政策提言」を関西の総意としてとりまとめ

大阪湾の国際競争力強化により、**関西経済の活性化へ貢献**

大阪湾諸港の包括的な連携に向けた検討部会(部会長:近畿地方整備局 副局長)

参加機関:大阪府、兵庫県、大阪市、神戸市、大阪税関、神戸税関、近畿運輸局、神戸運輸監理部、第五管区海上保安本部、近畿地方整備局



一開港化を通じた大阪湾諸港の
包括的な連携による国際競争力の強化
利用者の利便性向上

【今後の予定】

・4港湾管理者の連名による要望書を、2月下旬～3月上旬に関係者に提出予定

・国際物流戦略チーム(本部長:秋山喜久関経連会長)より、「政策提言」を3月下旬に関係者に提出予定

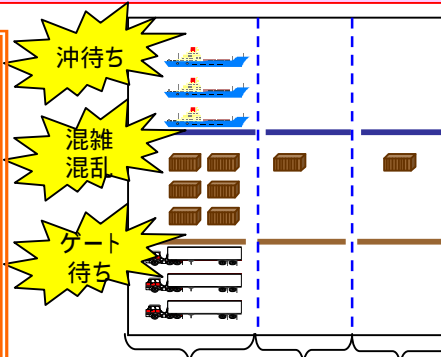
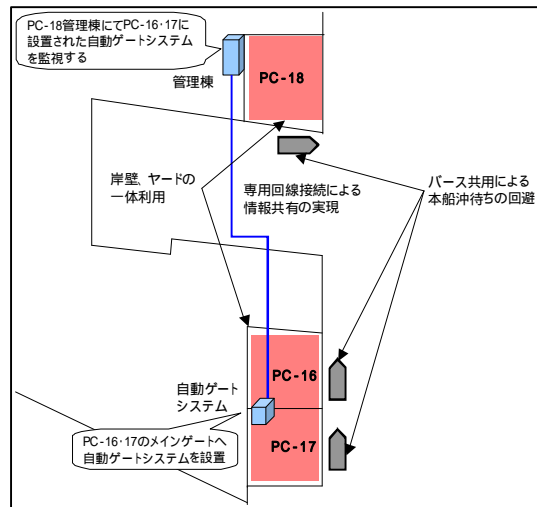
課題:【拠点整備】 コンテナ船の大型化、抜港の動向を見通した港湾機能の充実
 課題:【IT化等による作業・手続きの簡素化】 IT化の促進等によるターミナル運営の効率化等

短期対応施策の
取組状況イメージ

【取り組み状況】阪神港スーパー中枢港湾社会実験
 (IT化による3ターミナル一体運用)を10月より阪神両港で実施中

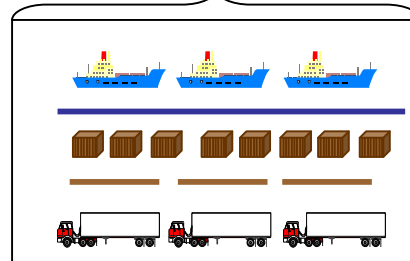
神戸港 対象:ポートアイランド(第2期)

バースウィンドウ、ヤード、ゲートの一体運用



ターミナル個別運用
 スケールメリット実現

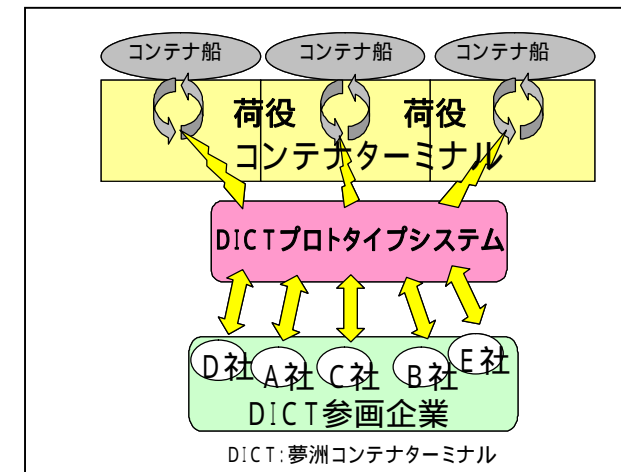
ターミナル一体運用



一つのターミナルに貨物が集中した場合は、柔軟な荷役体制が取れず、コスト・リードタイムが増大。

大阪港 対象:北港南(夢洲)

DICTシステムのコア:DICTプロトタイプシステムの構築



* 各社既存システムをDICTプロトタイプシステムに接続することで、システムを一元化させ、共同荷役を目指す

複数ターミナルの一体運用によるコスト低減及びリードタイム短縮効果を測定

【今後の予定】

- ・阪神港広域IT研究会* (座長:神戸大学黒田教授)のアドバイスを踏まえて、平成17年度中に結果を取りまとめる予定。
- ・社会実験の結果を踏まえて、一体運用に向けて取り組みを進める。

* 阪神港広域IT研究会:産・学・官をメンバーとし、近畿地方整備局(港湾空港部)が平成17年3月に設置。SCMをはじめ、阪神港における短期的及び中長期的な情報化・IT化のあり方について検討している。これまでに3回開催され、平成17年度中に第4回を開催予定。

課題: [IT化等による作業・手続きの効率化]

従来の枠組みを越えた物流情報プラットフォームの構築や情報化のメリットの具体化

短期対応施策の
取組状況イメージ

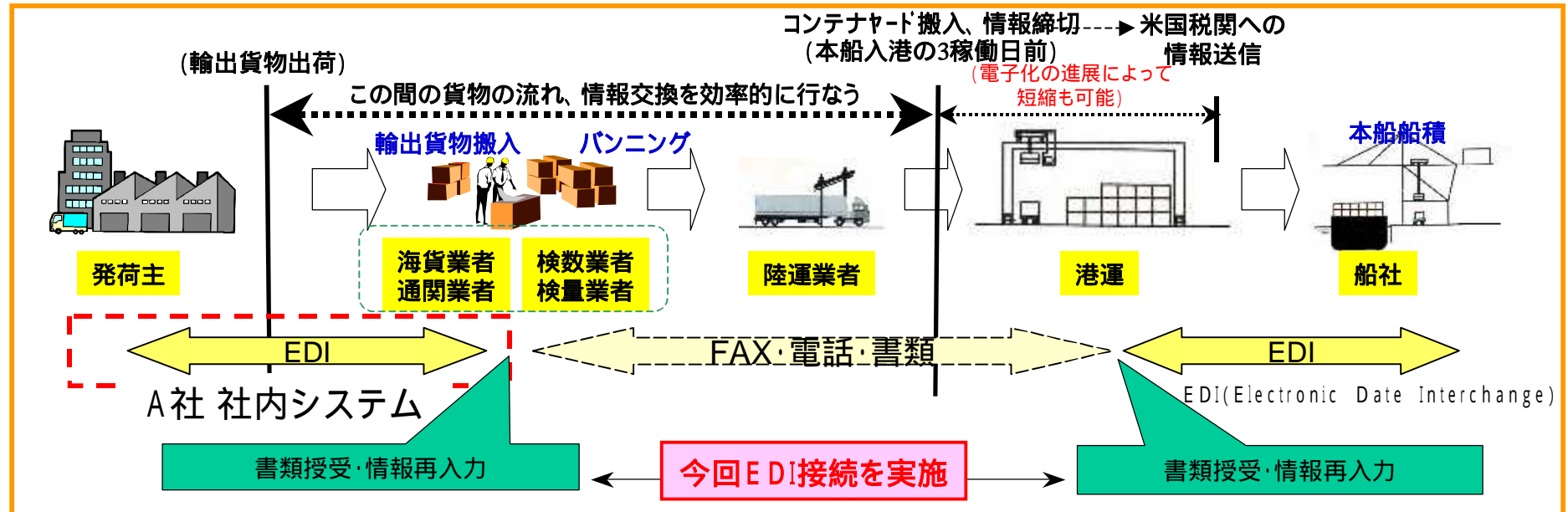
【取り組み状況】港湾物流情報プラットフォームの実現に向けた
SCMモデル事業の参加企業を公募中 (公募要項は以下に掲載 <http://www.jastpro.org>)

現状: 一貫した電子情報の授受が
なされていない

- ・業務プロセスの統一
- ・共通メッセージの開発
- ・メリットの明確化による認知

目標: コスト削減・時間短縮・セキュリティ強化

港湾物流情報プラットフォーム構築に資するモデル事業のイメージの一例



【今後の予定】

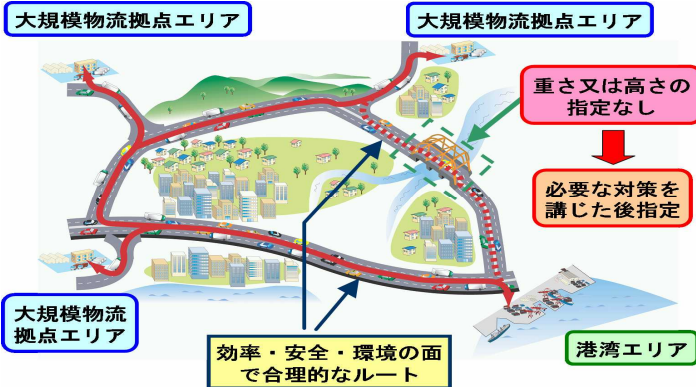
- ・3月に公募を審査する審査委員会を開催し、平成18年度にモデル事業を実施予定

【取組み状況】

- ・高規格幹線道路等の整備に向け推進
- ・国際物流基幹ネットワーク(仮称)の構築
- ・住民、物流業者や警察等と連携したFQP施策取組に向け準備中

国際物流基幹ネットワーク(仮称)

・積み替えなく輸送できる道路ネットワーク
(国際物流基幹ネットワーク(仮称))を構築し、明示する。



・国際物流における必要性
・周辺市街地への環境・安全に対する影響
の両面から、重さ・高さ指定道路の範囲を見直し

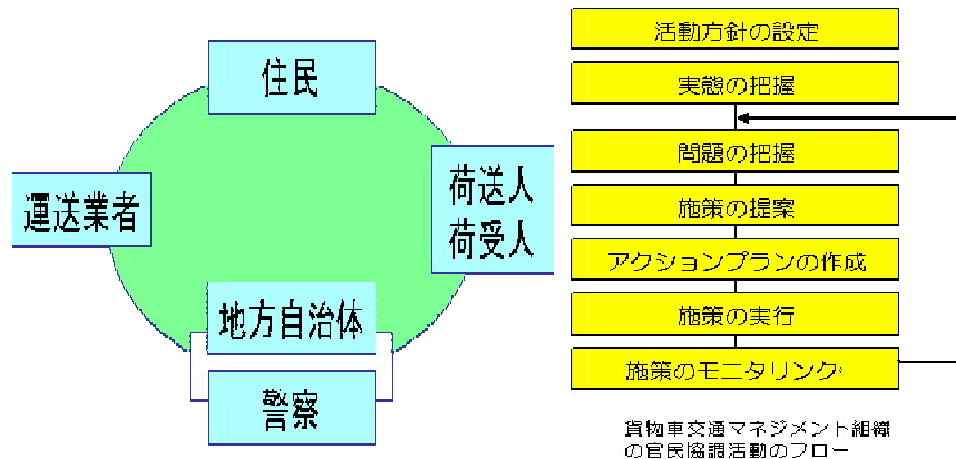
17年度中にボトルネック対策箇所を選定

重さ・高さ指定状況について必要な見直しを行い、国際物流対応の道路を明示

18年度以降、対策実施
特にスーパー中樞港湾に係るボトルネックのうち、複数の主要物流拠点からのルート上にある箇所について、概ね5年以内に解消を目指す。

FQP施策

・FQPの取組に向け検討中



FQP (freight quality partnerships)

：貨物車交通マネジメント組合。英国で住民・運送業者・荷主・行政等の幅広い関係者が参加し、地域の貨物輸送改善の取組。

【今後の予定】

- ・平成17年度末までに基幹ネットワークとボトルネック箇所を抽出し、平成18年度より対策を実施
- ・平成18年度より、大阪府において、FQP施策取組に向け準備中

課題:【国内外ネットワーク整備環境問題等への対応】
環境に優しいモーダルシフトの推進

短期対応施策の
取組状況イメージ

【取り組み状況】

- ・モーダルシフト等CO2削減と物流効率化に寄与する取り組みの支援制度を平成18年度拡充
- ・関西グリーン物流パートナーシップ会議を平成18年1月25日に設置

- ・目的:関西において、物流分野におけるCO2排出削減に向けた 荷主企業と物流事業者の連携、協働による取組を支援し、グリーン物流パートナーシップ事業の普及・促進を図る
- ・構成:学識経験者・経済団体・荷主団体・物流団体・地方公共団体・関係機関の委員
- ・会長:長坂悦敬(甲南大学経営学部教授)
- ・事務局:近畿運輸局・神戸運輸監理部・近畿経済産業局

募集期間:平成18年1月30日～平成18年3月13日

提案窓口:近畿運輸局企画振興部物流振興・施設課
神戸運輸監理部総務企画部企画課
近畿経済産業局産業部流通・サービス産業課

平成18年度(予算案)

全国版グリーン物流パートナーシップ会議

【モデル事業】9.8億円
・引き続き先進性のある取組を支援

優先順位を付け、
本部に提出

関西グリーン物流パートナーシップ会議

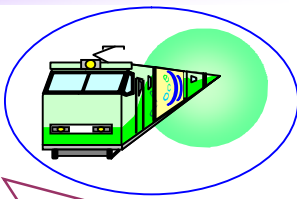
【普及事業(新設)】30億円程度
(NEDOへの応募見込額:全国)
・モーダルシフト、共同輸配送、3PL、物流拠点集約などの普及事業の支援、募集、受付、評価、優先順位付け

トラック輸送効率化



荷主別ラックの活用とトラック大型化により多数荷主の幹線輸送を共同化

複数荷主によるモーダルシフト



複数荷主の参加により大規模にモーダルシフトを実施

評価要領(抜粋)

【認定基準】

年間省エネ量(3点)及び省エネルギー率(3点)
政策的評価(4点)

【政策的評価】

事業等の内容に対する評価(下記事項が含まれている事業には、それぞれ1点)
・自治体、経済団体、荷主団体、運輸関係事業者団体が取り組む物流に関するCO2排出量抑制対策実施事項が事業等の内容に含まれているもの
・地域の物流ボトルネック解消に資する事業のうち国際物流戦略チーム本部会合において位置づけられたもの
・物流総合効率化法に基づく総合効率化計画に係る特定流通業務施設の立地及び規模の認定基準に適合する施設を利用するもの
・複数の荷主企業もしくは物流事業者が連携、協働して行うもの
申請者等に対する評価(下記の事業所において実施される事業には、それぞれ1点)
・エコルールマークに企業認定されているもの
・ISO14001を取得又はグリーン経営認証制度に基づく認証を取得した事業所
・安全性優良事業者認定制度に基づく認定を受けている事業所等

【今後の予定】平成18年3月下旬に第2回会議を開催し、申請案件に係る評価及び優先順位付けを行い、全国版グリーン物流パートナーシップ会議に提出

【取り組み状況】平成18年1月～2月に、神戸港において、内外貿バースの一体運用による内航フィーダー利用促進に関する社会実験を実施中。

【社会実験1】



【実施内容】平成18年2月1日から

PC14/15と一体的に利用できるPC16においてフィーダー貨物の荷役を実施し、バースウィンドウの制限、ドレージコストの発生を回避するとともに、内航コンテナフィーダー船の運航効率を向上
内航コンテナフィーダー船に対して専用の荷役チームが対応するため、荷役待ちが解消

【社会実験2】



【実施内容】平成18年1月30日から

既に内航資格を有する大型のデッキバージ(船員が少なくコストが安い)(3,000D/W程度)を使用し、大阪湾で発生する空コンテナの調達・返還をベースに、複数地方港(瀬戸内近距離圏)で発生するコンテナ貨物の集荷を行い、効率的で低廉な輸送サービスを提供



大型デッキバージによる効率的で低廉な輸送サービス



【今後の予定】社会実験終了後、効果の測定・課題の整理等を行い、国土交通省におかれている「内航フィーダー輸送社会実験推進委員会」にて報告し、とりまとめが行われる予定。

課題：【24時間空港の活用等】

深夜便を誘致し、活用することによるリードタイムの短縮及びインタクト輸送の拡大

短期対応施策の
取組状況イメージ

【取組み状況】

・平成17年11月15日に関空国際物流効率化推進協議会を設置し、18年度中の国際物流円滑化モデル事業(関空 中国:上海、香港)の実施に向けて検討・調整中

物流の現状

関空と中国の間の航空貨物輸送の現状
工場出荷の翌日便搭載により、リードタイムは2日～3日
企業の効率的な物流ルートにあった貨物便フライトがない
関空における深夜のハンドリング、荷捌きの条件が未整備

【深夜貨物便活用による輸出入貨物のシミュレーション
(輸出の場合)】

翌日 16:00頃 香港内配送
翌々日 12:00頃 中国華南地区配送



関西の工場 16:00 出荷



関空

24:00 関空発 深夜貨物便



香港

10:00頃 貨物引取り



3:00 香港空港着



目標とする効果

物流効率化に不可欠なリードタイム短縮を実現(1日短縮)

(関空深夜貨物便増強プラン)

実施予定

< 需要の確保 >

貨物の確保・量の把握【主要な荷主企業にヒアリング中】
平成18年1月31日、荷主企業向け説明会を実施
荷主のニーズを踏まえ、ダイヤおよび便数を調整

< 輸送体制・作業体制の確保 >

航空会社による深夜便の運航
深夜の作業体制等の整備

< 共同輸送・インタクト輸送の実施・拡大 >

共同輸送の実施
インタクト輸送の拡大【深夜便運航にあわせて活用】

支援

支援

検討課題

モデル事業に限定した関空の施設利用料金の設定
従業員対策～仮眠施設の確保、従業員専用深夜バス運行等
アクセスの確保
モデル事業に限定した連絡橋通行料の設定
モデル事業にかかる関係機関の支援措置

【今後の予定】

・平成18年度中に深夜の臨時便等の運航及び共同輸送を活用した国際物流円滑化モデル事業を実施

【取り組み状況】空コンテナ共同インランドデポシステムの構築に向け、検討中

荷主の空コンテナ引取場所

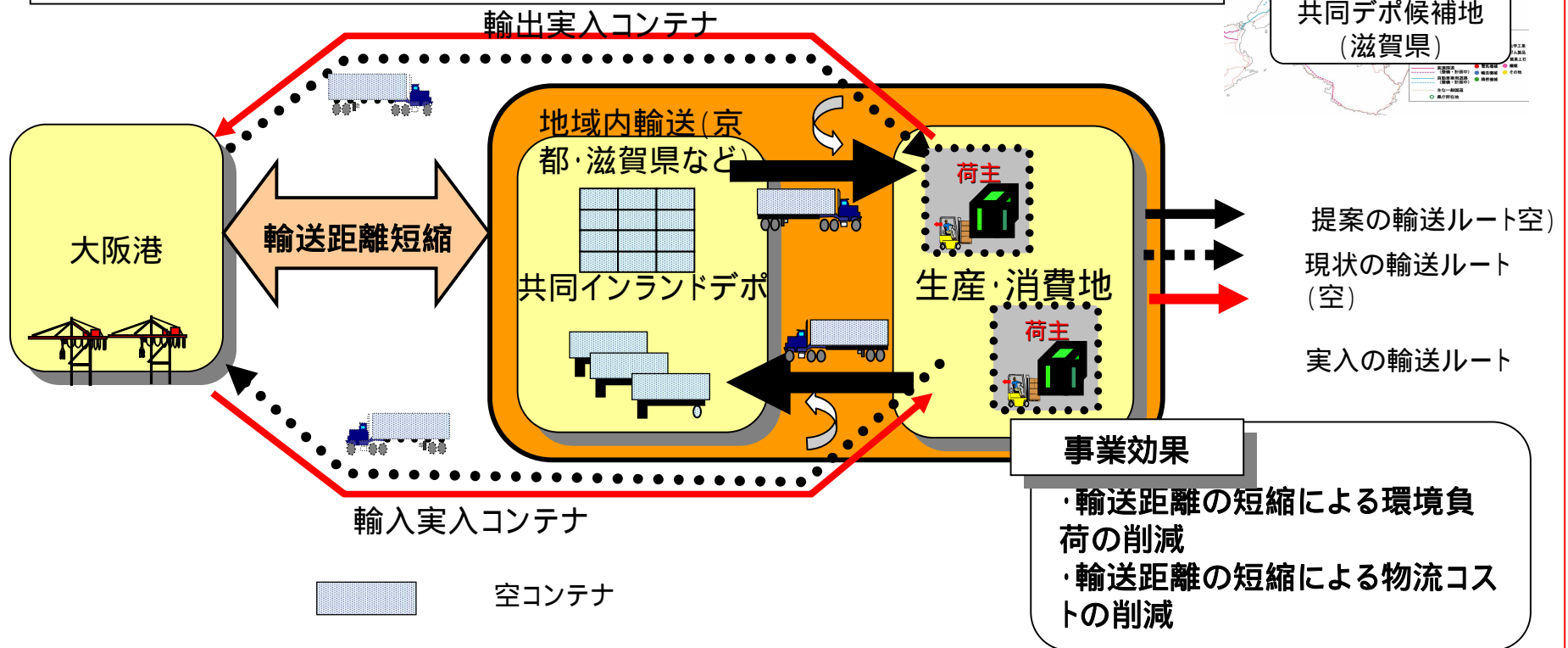
現状： 基本的に港頭地区で受渡し

提案： 荷主と近接したエリアで受渡し(共同デポ)

輸送距離の大幅な短縮



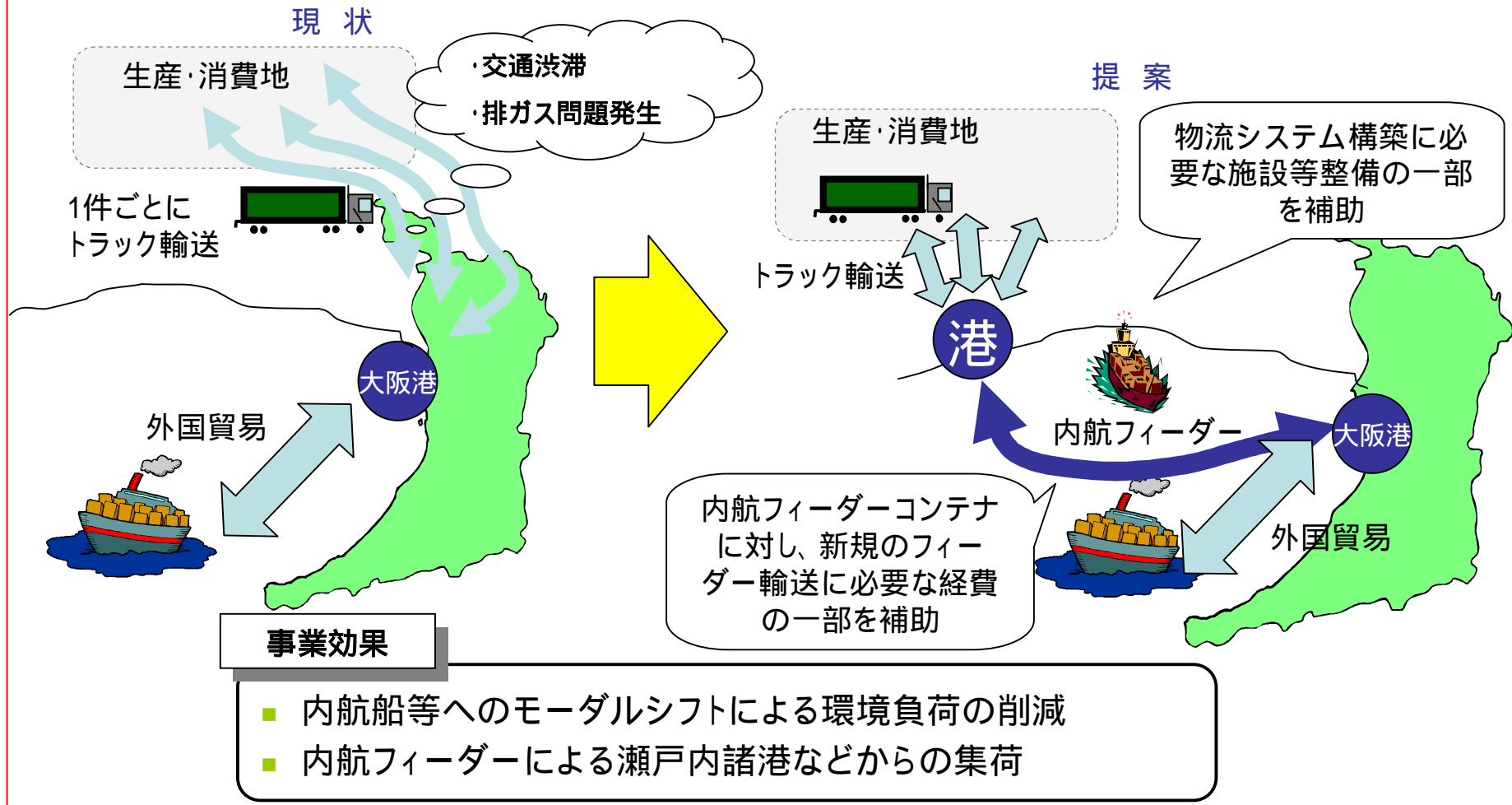
共同デポ候補地
(滋賀県)



【今後の予定】

・平成18年度 事業者による共同デポの整備・実証実験

【取り組み状況】「大阪市モーダルシフト補助制度」については、平成17年度実施分として8件の事業を認定



【今後の予定】

・スーパー中枢港湾の連携に向け、神戸市でも同制度の導入を検討中

【取り組み状況】国際物流戦略チームホームページを7月29日に開設。「目安箱」により新たな課題を抽出

国際物流戦略チームの設置趣旨や構成、活動状況などを広報します。

本部会合や幹事会の開催状況を掲載しています。

今後、活動の成果やそのフォローアップについても順次掲載予定です。

「国際物流目安箱」

いつでも、誰でも国際物流に関する意見を投函できます(電子メール送信機能が必要です)。

内容確認等のため、事務局から問い合わせさせていただくことがあります(連絡先等必須情報)。

意見は事務局が管理し、幹事会において対応などを検討します。

URL: <http://www.pa.kkr.mlit.go.jp/kbutsuryu/top.html>

【今後の予定】

・本日の取組方針について、「国際物流目安箱」においてパブリックコメントを実施予定